

令和4年5月2日（月）
国土交通省関東地方整備局
京浜港湾事務所

記者発表資料

令和4年度 京浜港湾事務所の事業概要について

令和4年度の京浜港湾事務所の主な事業概要は、以下のとおりです。

1. 横浜港では、コンテナ船の大型化やコンテナ貨物の増加に適切に対応し、基幹航路の維持・拡大を図るため、コンテナターミナルの再編整備を行います。
2. 川崎港では、東扇島地区の物流機能高度化に伴って慢性化する交通混雑の緩和と大規模災害時における輸送ルートの多重化を図るため、東扇島地区と内陸部を結ぶ臨港道路の整備を行います。

京浜港湾事務所ホームページURL <https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、
神奈川県政記者クラブ、川崎記者クラブ、物流専門紙

問い合わせ先

所属	国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所
氏名	副所長 渡部 武士 (わたなべ たけし)
	統括建設管理官 鈴木 誠 (すずき まこと)
	第一工務課長 福本 裕哉 (ふくもと ひろや)
	保全課長 齋藤 竜司 (さいとう りゅうじ)
TEL	045-226-3765
FAX	045-226-3756

横浜港国際海上コンテナターミナル再編整備事業

R4年度事業費：217.4億円

【神奈川県】直轄

事業の概要

コンテナ船の大型化や船社間の連携による基幹航路の再編等、海運・港湾を取り巻く情勢が変化する中、基幹航路に就航する大型船の入港や、増加するコンテナ貨物の取扱いに適切に対応し、我が国に寄港する基幹航路の維持・拡大を図るため、横浜港においてコンテナターミナルの再編整備を進めます。

令和4年度予定

- 本牧ふ頭地区D5岸壁(水深16m) および荷さばき地の撤去工、地盤改良工を実施する予定です。
- 新本牧地区岸壁(水深18m)および護岸(防波)の地盤改良工、基礎工、本体工、裏込工を実施する予定です。

事業の効果

- コンテナ貨物の増加とコンテナ船の大型化に適切に対応することにより、海上輸送コストの削減等が可能となります。
- アライアンス拠点港としての利便性を高め、北米・欧州基幹航路の維持・拡大を図ることにより、物流効率化による我が国産業の国際競争力強化に寄与します。
- 耐震岸壁の整備により、震災時においても物流機能が維持されることで、我が国の産業活動と市民生活の安全・安心を確保します。



事業の概要

国際コンテナ戦略港湾である京浜港の一翼を担う川崎港において、コンテナターミナルでの貨物取扱量の増加や日本随一の冷凍冷蔵倉庫群等のロジスティクス機能の充実に伴う将来交通量の需要の増大に対応し、円滑な物流を確保するため、東扇島地区と内陸部を結ぶ臨港道路を整備しています。

令和4年度予定

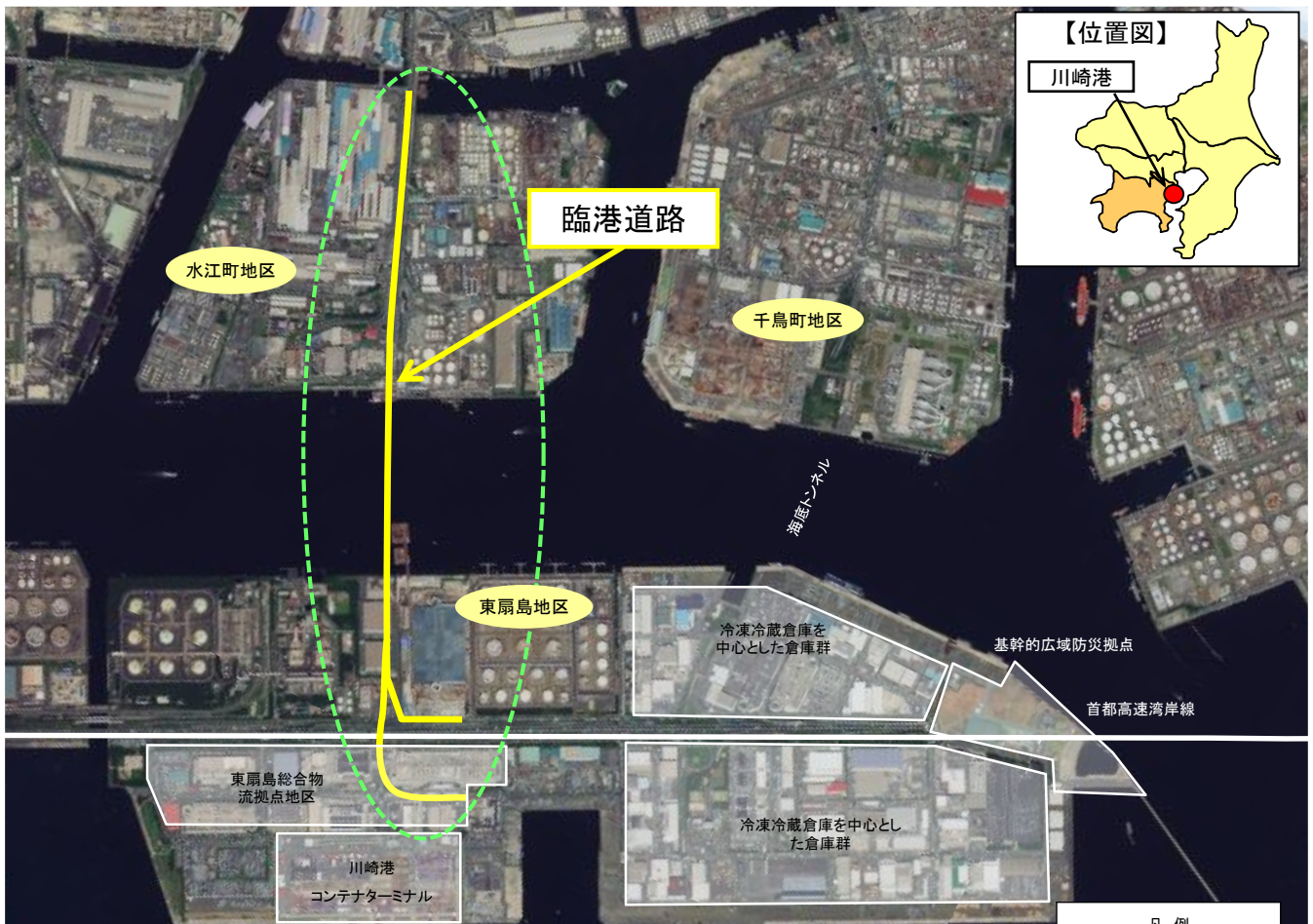
○東扇島地区等の橋梁の上部工、下部工等を実施する予定です。

事業の効果

○川崎港と背後圏のアクセスが向上します。

○基幹的広域防災拠点が立地する東扇島と背後圏を結ぶ緊急物資輸送ルートが新たに拡充され、首都圏の防災機能の強化が図られます。

※基幹的広域防災拠点：災害時において、緊急物資輸送の中継基地や広域支援部隊等の一時集結地・ベースキャンプとして機能する施設。通常時は公園としても機能する。



凡例	
	直轄
	令和4年度直轄予定